

津野町加工所・津野町アンテナショップ（満天の星） 指定管理候補者選定委員会 審査要領

津野町加工所・津野町アンテナショップ指定管理にかかる公募型プロポーザルの審査に関する事項を次に定める。

1 審査の目的

本審査要領は、「津野町加工所・津野町アンテナショップ（満天の星）指定管理公募型プロポーザル」における指定管理候補者の選定にあたり、公正かつ透明性のある審査を実施するため、審査基準、審査方法、配点等を定めるものである。

2 適用範囲

本審査要領は、津野町加工所および津野町アンテナショップの指定管理候補者の選定審査に適用する。

3 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号をすべて満たす事業者を対象に行う。

- (1) 別途定める「津野町加工所・津野町アンテナショップ（満天の星）指定管理公募型プロポーザル実施要項」（以下「実施要項」という。）に規定する資格要件を満たす参加者
- (2) 実施要項に規定する期限内に、必要な書類のすべてを提出した参加者
- (3) 実施要項により、適正に書類を作成した参加者

4 選定委員会の構成

「津野町加工所・津野町アンテナショップ（満天の星）指定管理候補者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）により審査を実施する。

5 選定委員会の職務

選定委員会は、以下の職務を行う。

- (1) 提出された書類の審査
- (2) プレゼンテーションの実施および審査
- (3) 指定管理候補者の選定
- (4) その他審査に関する必要な事項

6 審査基準の構成

本審査要領の審査基準は、実施要項に掲げた以下の3本の基本方針に基づいて構成されている。

- (1) 3本の基本方針

① 魅力的な商品開発とブランド化

満天の星大福などブランドの核となる既存商品の加工販売に加え、「つの茶」などの地域資

源を活用し、付加価値の高い商品開発を通じた「食のブランド化」による地域製品の消費拡大を図る。

また、地域資源のさらなる魅力化、地域への波及効果及び全国市場での競争力強化に向け、町外製品とのセット、コラボレーション又は単体販売も戦略的に検討する。

② 地域と共にある自立的な経営

地域との連携を深め、売上拡大を通じた地場産品消費による地域経済の循環と、収益性の向上による自立的な経営体制を構築する。

③ 強固な運営基盤の構築

オペレーションの効率化などを推進し人手不足にも対応した持続可能な経営体制を構築する。

(2) 基本方針の相互関連性

これら3本の目的は相互に関連しており「ブランド化による収益性の向上」が「自立的な経営」の基盤となり、「地域産品の活用」が「ブランド化」の強化につながるなど、統合的に審査する。

審査項目は、これら3本の目的を総合的に評価するため設定されたものであり、各項目の評価を通じて、事業者の事業計画全体の実現可能性と持続可能性を判断する。

7 審査項目と配点（合計100点）

総合点数は100点とし、審査項目と審査項目ごとの配点は別表「審査基準」のとおりとする。

8 審査の方法

提出された応募申込書、企画提案書およびプレゼンテーションにより選定委員会で、審査基準に基づき各方面から総合的に審査する。審査員は5名（予定）であり、審査による評価点の合計が、満点の2分の1に満たないときは失格とする。

- (1) 令和8年10月16日（金）に津野町役場本庁舎で実施予定。なお、日時場所等の詳細については別途通知する。
- (2) 選定委員会では、参加者から提出された応募申込書、企画提案書及び選定委員会におけるプレゼンテーションに対する審査を行う。
- (3) プレゼンテーションは、提案内容の説明25分間、質疑応答20分間を参加者ごとに行う。出席者は3名以内とし、業務責任者、若しくは担当者となる者は必ず1名出席すること。なお、プロジェクターによる説明を行う場合、選定委員会でプロジェクター及び投影スクリーンは用意するが、パソコンは持参のこと。また、この場合は機器接続確認のため担当者まで連絡すること。
- (4) 各選定委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別途定める「審査基準」に基づいて審査を行う。
- (5) すべての参加者の審査が終了し、各選定委員の審査結果を集計後、候補者と次点者を決定する。
- (6) 審査の結果、最高点の者が同点で2者以上ある場合は、選定委員会の議決により選定する。

9 審査結果の発表

審査結果については、審査実施日の翌日を目途に、参加者に文書で通知する。

(別表)【審査基準】

審査項目	配点	評価基準
1 事業方針・経営理念	7	本事業における指定管理者としての基本的な考え方（価値観、現状認識、目指す姿）が明確かつ適切であり、事業計画と整合性があるか。
2 商品開発・ブランド化戦略	14	地域資源を核とした付加価値の高い商品開発、食のブランド化の具体的戦略、実現可能性。また、町外産品とのセット、コラボレーション又は町外産品を単体販売する場合は、地域資源のさらなる魅力化、地域への波及効果及び全国市場での競争力強化につながる戦略が示されているか。本項目はブランド化による収益性の向上を通じた自立的な経営を実現するための基盤となる項目。
3 販売・営業戦略	14	売上拡大と地域産品消費拡大に向けた具体的な営業施策、マーケティング戦略、実現可能性。本項目は、商品開発とブランド化の成果を実現するための営業施策であり、経営の自立性を評価する項目。
4 地域連携・地域貢献	14	地域との連携体制、地域経済への波及効果、町内雇用への取り組み。本項目は、地域産品の活用による地域経済の循環と、ブランド化による相乗効果を評価する項目。
5 組織体制・人材確保・業務効率化・実施スケジュール	13	適切な組織体制の構築、必要な人材の確保・育成計画、オペレーション効率化の具体的施策と実現可能性。また、指定管理決定後（12月上旬予定）の実施スケジュールが示されており、その計画は現実的なものか。
6 財政計画・収支見通し	12	現実的で実現可能な収支計画、経営の自立性、資金繰りの安定性。本項目は、商品開発・販売戦略・地域連携を通じた経営の自立性を総合的に評価する項目。
7 事業者の財政基盤・経営安定性	12	現状の財務状況（直近の決算書など）、自己資本比率、負債状況、経営の安定性。本項目は、指定管理期間中に事業者が安定的に施設を運営し、提案された事業計画を実行できるだけの経営基盤を有しているか評価する項目
8 施設運営・管理体制	6	施設の適切な維持管理、利用者対応、安全管理、衛生管理の体制。本項目は、強固な運営基盤の体制を実現するための基本的な要素。
9 リスク管理・危機対応	5	想定されるリスク（食品安全・労務等）への対応策の妥当性
10 独自提案事業 ※任意項目	3	商品の魅力を高め、来店者数向上や町内産品のブランド化につながるような新たな事業者提案事業の具体的戦略、実現可能性 ※本項目は独自提案の有無を問うものであり、提案がないことによる減点はありません。魅力的な提案に対して加点評価を行います。